



## 群馬大学基金

# 駆ける 世界を グローバルチャレンジプログラム 募集説明会

国際センター  
2022年10月27日（木）秋の留学フェア

## 群馬大学秋の留学フェア（10/25～11/1）

	10/26（水）	10/27（木）	10/28（金）
	長期交換留学	グローバルチャレンジ	短期研修
留学期間	3カ月～1年以内	自由	10日間～2カ月 （夏・春季休暇中）
プログラム内容	授業履修・研究・インターン	自由	英語＋α、国際PBL インターン
派遣先国	世界19カ国 34大学	自由	イギリス・ベトナム・ オーストラリア・ アメリカ・ポーランド
プログラム費用 奨学金	授業料免除 月額6～10万円	50万円	月額3～8万円
単位認定	あり	なし	あり

# グローバルチャレンジプログラム

## って何？

- ◆ 海外で交流・研修・研究を行うための奨学金
- ◆ 個人あるいは学生グループで応募できる
- ◆ 海外での活動プランを自由に企画できる
- ◆ 最大50万円の奨学金を支給（返済不要）
- ◆ 家計基準等、縛りなし

# グローバルチャレンジプログラム

## 応募資格および条件

- ① 群馬大学に在籍する正規の学部生・大学院生
  - ・ 国費留学生は応募不可
- ② 学部の教員より応募の推薦を受けること
- ③ 群馬大学の国際化を推進できるもの

# グローバルチャレンジプログラム

## 奨学金支給対象期間

### 【原則】

2023年4月1日以降に日本を出発し、2024年3月31日までに帰国するもの

※ 3/31以降、帰国する場合も対応可

# グローバルチャレンジプログラム

## 奨学金支給の内容

何に対して、どのような方法で支給するの？

【奨学金の支給内容】 何に対して支給するの？

- 往復航空券
- 授業料・プログラム参加費用
- 現地での活動費用（月額）  
（地域指定月額）

→ 1件につき最大50万円まで支給

## 地域指定月額

31日未満→1月分

31日以上62日未満→2ヵ月分

※ただし、現地活動日数として算出（移動日は含めない）

## 地域により4つに区分

月額

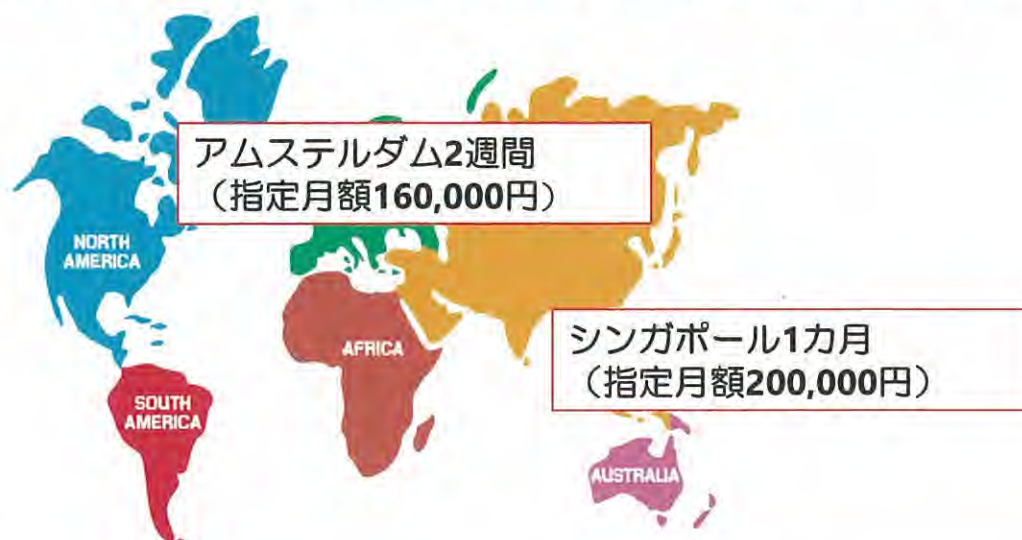
指定都市	サンフランシスコ、シンガポール、ニューヨーク、パリ、ロンドン、モスクワ、ロサンゼルス、ワシントンD.C. など	200,000円
甲地区	北米、欧州、中近東（一部地域を除く） 例）アムステルダム、シアトル、バンクーバー、トロントなど	160,000円
乙地区	指定都市、甲地方、丙地方以外 例）クアラルンプール、シドニー、ジャカルタ、バンコク、プラハ、マニアなど	140,000円
丙地区	アジア（一部地域を除く）、中南米、アフリカ 例）上海、台北、北京など	120,000円

## 地域指定月額

### ● 異なる月額で地域で活動を行う場合

→ 滞在日数が長い地域の月額を適用

→ 滞在日数が同じ場合は金額が高い地域の月額を適用



## 【奨学金の支給方法】

どういう方法で支給されるの？

- 
- |                     |   |  |
|---------------------|---|--|
| ① 往復航空券             | → | 大学指定の手続きに従って航空券の購入をする場合は <u>渡航前</u> の支給可 |
| ② 授業料・プログラム費用       | → | 事前に見積を提出すれば <u>渡航前</u> の支給可              |
| ③ 地域指定月額による海外活動支援費用 | → | <u>渡航前</u> の支給可<br>帰国後、必要書類を提出           |
- 

## 奨学金支給の注意点

- ◆ 学内の他の海外用奨学金との併給は不可
- ◆ 海外での活動のために指導教員等が費用の不足分を補填する場合、合算使用は可

# グローバルチャレンジプログラム

## 申請書類（12/6〆切）

- ① 申請書（様式1）
- ② 申請グループ構成員一覧（様式2）

書類の提出先（メールで送付）※書類の手渡し×

群馬大学国際課

E-mail: g-exchange@jimu.gunma-u.ac.jp

プログラムに申請する学生あるいは学生グループの代表学生は国際課に書類をメール送付

## 申請書の書き方

### ◆ いつどこに行きたいか（留学計画）を書く

→ 留学相談（越智）

（相談内容）

※いつ、どこに行くか？

※海外の大学（機関）の紹介

### ◆ 保護者・指導教員の承諾

指導教員の承諾は

✓メールでもらい

✓承諾メールを申請書と一緒に提出

群馬大学基金 様式1  
願わく、世界を！グローバルチャレンジプログラム申請書

群馬大学長 殿

代表者氏名等  
所属：  
学年：  
氏名：

年 月 日

グローバルチャレンジプログラムに下記の通り申請します。

留学のテーマ			
研修先大学等の名称		(国名: )	
渡航時期		年 月 ( 日 間)	
日程	月 日	活動内容、場所など	従事時間
	月 日 ( )	出国 ( → )	
	月 日 ( )		
	月 日 ( )		
	月 日 ( )		
	月 日 ( )		
	月 日 ( )		
	月 日 ( )		
	月 日 ( )	帰国 ( → )	
	月 日 ( )	帰国	

↑記入箇所、用紙が不足の場合は追加してください。

本プログラムに申請することについて保護者（保護者氏名: ）からの同意が得られています。  
 本プログラムに申請することについて指導教員（指導教員氏名: ）からの同意が得られています。  
※指導教員からの承認は「申請することの承認」について確認がとれるメールを添付してください。

上記の記載事項に間違いがないことを証明いたします。学生氏名: \_\_\_\_\_

## 申請書の書き方

①留学の目的と内容	<ul style="list-style-type: none"><li>• どこで、いつ、どれくらいの期間、どういう活動（交流・研修・研究）をするか？</li><li>• なぜその活動在那个場所で行うか？（動機）</li><li>• 活動の独自性やユニーク性をアピール</li></ul>
②計画達成のための準備	<ul style="list-style-type: none"><li>• 海外での活動場所をどのように見つけ、準備を進めているか？（具体的に記載）</li><li>• 語学について</li></ul>
③帰国後、期待される成果	<ul style="list-style-type: none"><li>• 海外での活動（交流・研修・研究）の具体的な成果</li><li>• 海外での活動によってどういう自分になることを期待しているか</li><li>• 本学の成果にどのようにつながるか？</li></ul>

## 申請書の書き方

④将来の計画、グローバル活動への抱負	<ul style="list-style-type: none"><li>• 海外での活動を、帰国後、どのように自分の将来に活かしたいと考えているか？</li></ul>
⑤グローバルチャレンジプログラムに自身が貢献できること	<ul style="list-style-type: none"><li>• 留学の経験を活かし、どのように群馬大学の国際化のために貢献したいと考えているか？これまでの活動を踏まえつつ、具体的に記載。</li><li>• 海外での活動の内容や成果を、自分の独自のツールを使って、どのように学内外に広く発信していくか？</li></ul>
⑥その他、アピールできること	<ul style="list-style-type: none"><li>• 自分の強み、留学への意気込みなど</li></ul>

# 申請書の書き方

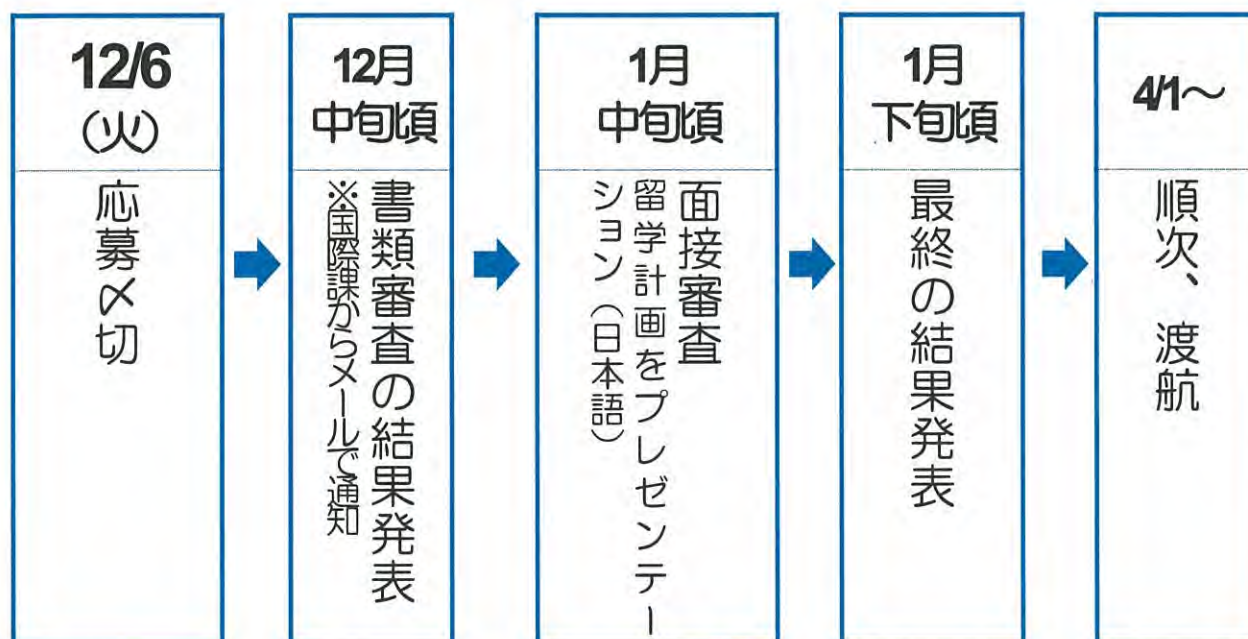
様式 2

群馬大学基金  
駆ける、世界を！グローバルチャレンジプログラム 申請者名簿

1. プログラム申請者（代表者） 国籍： _____ 氏名： _____ 所属： _____ 学年： _____	個人で申請する場合は、 自分の情報のみ記載
2. プログラム申請者 国籍： _____ 氏名： _____ 所属： _____ 学年： _____	
3. プログラム申請者 国籍： _____ 氏名： _____ 所属： _____ 学年： _____	

## グローバルチャレンジプログラム

### 選考スケジュール・選考方法





# グローバルチャレンジプログラム 面接審査について

留学計画（いつ、何をするのか）を日本語でプレゼン

## ◆ 審査員による審査

役員（学長・理事）の前でプレゼン  
プレゼン実施日：1月中旬頃 オンライン

お友達をたくさん  
呼んでね！



## ◆ オープン投票（群大生・教職員）

プレゼン録画を視聴（期間：1月中旬の1週間）して投票  
視聴・投票場所：国際センターHP



# グローバルチャレンジプログラム 活用例

## 案① 既存の大学留学プログラムに＋アルファする

（例）群馬大学長期交換留学を使う  
現地で専門科目の履修＋企業インターン

## 案② オリジナルプラン

（例）イタリア・キックオフミラノで「日本と海外のフットサルチーム（栄養・コーチング等）を比較する」

（例）日本・シンガポール・イギリスの広告に見るジェンダーの活用を議論する国際ワークショップ～現地大学生と考える今後のジェンダー～

# トビタテ!留学JAPAN 第15期 応募開始



## トビタテ!留学JAPAN



学内説明会：11月16日（水）（予定）  
 ※詳細は教務システムでお知らせします

留学プログラム	どこに留学できる？	留学期間	奨学金	難易度
長期交換留学	世界18カ国 38大学 ※指定された大学から選択	3カ月～1年以内	月額6～10万	★
グローバルチャレンジ	全世界・地域	自由	50万円	★★ 難しい
トビタテ!留学JAPAN	全世界・地域	28日以上	月額12～16万円 留学前準備金 15～25万円	★★★ かなり難しい

# 留学相談など

国際センター（海外留学派遣）  
越智 貴子（おち たかこ）

荒牧キャンパス大学会館3階研究室

E-mail: [tochi@gunma-u.ac.jp](mailto:tochi@gunma-u.ac.jp)

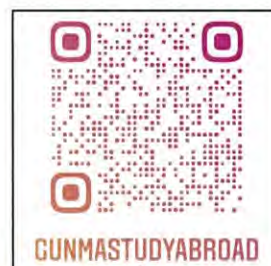
Tel: 027-220-7506



越智のLine QR



国際センター  
TwitterのQR



国際センター  
InstagramのQR

## 群馬大学基金

### 2022年度第5期「駆ける、世界を！グローバルチャレンジプログラム」募集要項

群馬大学の国際交流リーダーの育成を図るため、学生個人あるいは学生グループが自ら企画したユニークかつキラリと光る個性ある、海外での交流に成果を上げることが期待される研修または研究に対して、群馬大学基金により支援を行います。

#### 1. 応募資格及び条件

- ① 2023年4月1日時点で、本学の学部又は大学院の正規課程に在籍（見込み）し、海外において交流・研修（研究）活動を行う優れた企画と実行力を持つ学生あるいは任意構成の学生グループ。  
※ 国費留学生は応募ができません。
- ② 本プログラムの留学計画を企画するにあたり、主に渡航先との連絡調整や自らの留学計画を企画する際に助言などを行う指導教員等、各学部の教員からの推薦を受けることができること。
- ③ プレゼンテーションによる2次審査に参加できること（グループの場合必ず誰か1名が参加すること）。2次審査の日程は**2023年1月18日（水）13:00を予定しています。**
- ④ 本プログラム採択後に、参加者を増やすことや入れ替えることはできません。参加者の変更やその他、留学計画に変更が生じる場合は、理由書を国際課に提出してください。審議の上、プログラム支援の可否を判断します。

#### 2. 対象期間

原則として、2023年4月1日以降に出発し、2024年3月31日までに帰国すること。

#### 3. 採択件（企画）数

原則として3件。

※優れた企画の申請があった場合は予算の範囲内で採択します。

#### 4. 支援金支給の内容

支援内容は、往復航空賃（実費）、授業料・プログラム参加費用、留学期間中の活動支援費用（トビタテ留学 JAPAN 日本代表プログラム大学生等コースの奨学金額：地域指定月額に準じた額：12～16万円×月数）とし、帰国後に清算して支給します。支援金は採択された企画内容に対して1件あたり上限50万円です。

※ 同じ留学プログラム内で同一の学生あるいは学生グループが異なる月額の地域に留学する場合は、滞在日数が長い地域の月額を適用してください。滞在日数が同じ場合は金額が高い地域の月額を一律に適用してください。

※ (注意)「駆ける、世界を！グローバルチャレンジプログラム」からの支援金で海外留学を行う場合、他の経費との併給は原則としてできません。ただし、指導教員等が本プログラム実施のために不足分を補填することを認めた場合は、学内の教育研究費(運営費交付金)、又は使用可能な外部資金を旅費として合算使用することは妨げません。

※ なお、本プログラムによる支援のほかに、学内外の奨学金制度から奨学金、助成金などが支給される場合は、本事業の採択の辞退若しくは採択を取り消すものとし、さらに、申請後に、取り消し又は辞退することになった場合は、支給した支援金の全額を返納する必要があります。

## 5. 出願に必要な書類

本プログラムに申請する学生あるいは学生グループの代表学生は、指導教員となる本学教員の推薦の確認を受けたうえで、以下の書類を提出してください。なお、渡航が制約される地域が含まれる可能性があるプログラムについては、事前に問い合わせ先教員に確認して書類を作成してください。

① 群馬大学グローバルチャレンジプログラム申請書(様式1)

② 群馬大学グローバルチャレンジプログラム申請グループ構成員一覧(様式2)

※ 申請書の枠を動かすことはできません。

## 6. 出願書類提出期限及び提出先

本プログラムに申請する学生あるいは学生グループの代表学生は、出願書類を**2022年12月6日(火)23:59まで**に学生あるいは学生グループの代表者が国際課にメールで送付してください。

国際課

E-mail: [g-exchange@jimu.gunma-u.ac.jp](mailto:g-exchange@jimu.gunma-u.ac.jp)

## 7. 選考スケジュール及び選考方法

国際センター学生交流作業部会が申請書に基づき書類審査を行った後、2次審査として海外での交流・研修(研究)活動(海外で実現したい企画)についてプレゼンテーション(1/18実施予定)を行います。審査結果を総合的に判断して選考を行います。プレゼンテーション審査には、学長、理事などの大学役員及びその他関係者も参加します。

また本学学生および教職員による「一般投票」も受け付けます。一般投票の方法は秋のオンライン留学説明会(10月開催)でお知らせいたします。

最終の採否は、学長が決定後、学生あるいは学生グループの代表学生が所属する部長の長を通じて通知します。採択後に、採択された申請とは異なる内容に変更するなどの場合は、決定を取り消すこともあります。

#### 8. 報告書の提出、報告会の開催など

本プログラムにおいては、帰国後に帰国報告会を行います。

- ① 学生あるいは学生グループは、推薦教員の確認を得て、交流・研修（研究）活動終了後2週間以内に「活動報告書」を提出してください。
- ② 海外での交流・研修（研究）活動等の終了後に実施する帰国報告会の内容、提出資料や報告書は本学の活動の一環として広報等で公開する可能性があることを承知してください。
- ③ 活動報告書の作成及び帰国報告会の準備は、学生あるいは学生グループの構成員全員で臨み、帰国報告会には原則として学生あるいは学生グループ構成員全員が出席してください。

#### 9. プログラム終了後の国際交流活動への関与

本プログラムに参加した学生は、帰国後に群馬大学の国際化に関する行事、イベントに積極的に関わる義務があります。留学フェアやグローバルラウンジでのイベントでの経験の報告などの依頼があった場合は協力をお願いします。また、積極的に学内の国際交流の推進に寄与することも期待されています。

#### 10. その他

- ① 出願書類の様式は国際センターのHPからダウンロードが可能です。
- ② 海外渡航の際には、国際センターの「大学が認める研修・留学プログラムにかかる海外渡航の取り扱いの方針」に従ってください。

#### 11. 本プログラムに関する問い合わせ先

国際センター（海外留学派遣部門）

越智 貴子

荒牧キャンパス大学会館 3 階研究室

E-mail: [tochi@gunma-u.ac.jp](mailto:tochi@gunma-u.ac.jp) | Tel: 027-220-7506

国際課

荒牧地区大学会館 1 階

E-mail: [g-exchange@jimu.gunma-u.ac.jp](mailto:g-exchange@jimu.gunma-u.ac.jp) | Tel: 027-220-7627

**群馬大学基金**  
**駆けろ、世界を！グローバルチャレンジプログラム申請書**

年 月 日

群馬大学長 殿

代表者氏名等：

所属：

学年：

氏名：

グローバルチャレンジプログラムに下記の通り申請します。

留学のテーマ		
研修先大学等の名称		(国名： )
渡航時期		年 月 ~ 年 月 ( 日間)
日程	月 日	活動内容
	月 日 ( )	出国
	月 日 ( )	
	月 日 ( )	
	月 日 ( )	
	月 日 ( )	
	月 日 ( )	
	月 日 ( )	
	月 日 ( )	
	月 日 ( )	
	月 日 ( )	帰国

記入箇所、用紙が不足の場合は追加してください。

- 本プログラムに申請することについて保護者（保護者氏名： \_\_\_\_\_）からの同意が得られています。
- 本プログラムに申請することについて指導教員（指導教員氏名： \_\_\_\_\_）からの同意が得られています。

※ 指導教員からの承認は「申請することの承認」について確認がとれるメールを添付してください。

1. 留学の目的と内容【2 ページ以内】

計画の独自性、渡航先での交流活動が分かるように具体的に記載してください。



2. 計画達成のための準備【1 ページ以内】

3. ①帰国後、期待される成果、②将来の計画、グローバル活動への抱負、③グローバルチャレンジプログラムに自身が貢献できることをそれぞれ記載してください。

【2 ページ以内】

4. その他、アピールできること（自由記載）【1 ページ以内】

群馬大学基金

駆ける、世界を！グローバルチャレンジプログラム 申請者名簿

1. プログラム申請者（代表者）

国籍： \_\_\_\_\_  
氏名： \_\_\_\_\_  
所属： \_\_\_\_\_  
学年： \_\_\_\_\_  
学籍番号： \_\_\_\_\_

2. プログラム申請者

国籍： \_\_\_\_\_  
氏名： \_\_\_\_\_  
所属： \_\_\_\_\_  
学年： \_\_\_\_\_  
学籍番号： \_\_\_\_\_

3. プログラム申請者

国籍： \_\_\_\_\_  
氏名： \_\_\_\_\_  
所属： \_\_\_\_\_  
学年： \_\_\_\_\_  
学籍番号： \_\_\_\_\_

4. プログラム申請者

国籍： \_\_\_\_\_  
氏名： \_\_\_\_\_  
所属： \_\_\_\_\_  
学年： \_\_\_\_\_  
学籍番号： \_\_\_\_\_

5. プログラム申請者

国籍： \_\_\_\_\_  
氏名： \_\_\_\_\_  
所属： \_\_\_\_\_  
学年： \_\_\_\_\_  
学籍番号： \_\_\_\_\_